

<プロジェクト概要>

本プロジェクトを実施することにより、森林経営と同時に温室効果ガス吸収事業体であることの責務を再認識し、森林管理・施業技術の高度化を目指します。今後も持続可能な森林づくりを次代に継承していくため、人が関与する森林づくりがCO2吸収量維持など地球環境維持に貢献しているという見える指標を持ち、木材生産をしながらも今まで育ててきた豊かな森林環境を失うことなく、健全な森づくりを継続できるよう目的をもって臨みます。また、本プロジェクトで得られた資金は、森林管理費用のほか次世代を担う子供たちへの教育啓蒙活動費にも充てる計画です。

プロジェクトの実施場所	岐阜県中津川市苗木
吸収量(予測)	年間356 t-CO2
在庫量	285 t-CO2(平成26年8月末時点)
クレジットの次回発行予定	未定
1t-CO2あたりの希望単価	¥10,000(応相談)

自由記入欄

中津川市の苗木財産区林は、財産区の森林を苗木地区全員の共有財産として地域で大切に整備している森林です。苗木財産区林は、明治初期に乱伐されたことが原因で禿山化し、水不足や異常出水が頻繁に発生するようになりました。以来今日まで、森林の重要性に気づいた地元住民が中心に森林整備を進め、今では地域の子供たちも一緒になって地域全員で大切に管理しています。2007年にはSGEC森林認証を取得し、苗木財産区森林管理規定を樹立しました。ここまで育ててきた豊かな森林を再び失わないために、今後も人が関与する森林づくりを継続し、次世代を担う子供たちへの教育啓蒙活動にJ-VER制度を役立てていきたいと思ひます。

(苗木地区の地名の由来)

奈良朝のころ、空から杉の苗木が降ってきて、その苗木を植えたことが苗木地区の地名の由来といわれている。



豊かな秋の実り



苗木財産区のマツタケ



希少生物の棲みか



ハツチヨウトンボ



■担当者連絡先

事業者名 岐阜県中津川市苗木財産区 (TEL: 0573-66-1301 担当: 三好)

代表事業者 岐阜県森林組合連合会 (TEL: 058-275-4898 担当: 加藤)

(e-mail: rfpp@g-moriren.or.jp 担当: 加藤)

■HP

苗木事務所 <http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/branch/naegi/>

岐阜県森林組合連合会 <http://www.g-moriren.or.jp/>